

9 松山逃げ遅れゼロプロジェクト

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
	☑災害の切迫		
自治体	愛媛県松山市		

問合せ先：愛媛県松山市 防災・危機管理課

取組概要

- **マイ・タイムラインの普及**で風水害での逃げ遅れゼロを目指すプロジェクト。
- 産官学民が連携し、「**学校**」「**地域**」「**施設**」を核に、プロジェクトを進める。

取組のきっかけ

- 平成30年7月豪雨での被災をきっかけに、産官学民が連携して「全世代型防災教育」を開始。
- 令和3年7月、「全世代型防災教育」に参加する高校生から「防災マップとマイ・タイムラインシートを全戸配布し、家庭で災害リスクの確認や日ごろの備えを促す」という提案を受け、令和4年3月に実現。
- 以降、本プロジェクトを立ち上げ、全市民への普及を目指している。

取組のポイント

- 「松山逃げ遅れゼロプロジェクト」について、「**学校**」「**地域**」「**施設**」を核に進めることで、様々な世代や職域にマイ・タイムラインが浸透。
- また、**子どもが防災教育で学んだことを、はがきで大切な人に送る「とどけ！命のはがき」**も実施。
- さらに、マイ・タイムライン作成アプリを開発。**災害時の警戒レベルに合わせた行動通知機能等も活用し、逃げ遅れゼロへの効果を高める。**

学校

市立の**全中学校の1年生**を中心にマイ・タイムラインの学習を実施。学んだことをはがきで大切な人に送る「**とどけ！命のはがき**」も展開。

地域

自主防災組織を中心に全地区で**マイ・タイムラインの講師を養成する研修会**を実施し、講師がさらに地域でマイ・タイムラインを普及。

施設

福祉施設、小中学校、保育園・幼稚園の**各施設と地域が連携して、施設版タイムラインの作成を進め、自力避難が難しい施設を支援。**

産官学民でサポート！

松山市防災教育推進協議会、松山防災リーダー育成センター

国土交通省、松山市教育委員会、松山市消防団、松山市自主防災組織ネットワーク会議、愛媛県中予郵便局長会、松山市女性防火クラブ連合会、松山市社会福祉協議会、ライオンズクラブ ほか



取組の効果

- 多様な世代や職域で、風水害への理解が深まっている。
- 「学校」「地域」「施設」を起点とし、家庭や他組織にマイ・タイムラインが普及している。
- 若い世代の防災リーダーや、防災教育の担い手が育っている。
- 様々なタイムラインが参考となり、新たな防災への備えが生まれている。